

# かぼちゃ通信

後援会だより  
かぼちゃ通信第85号

●久田よしあき後援会事務所  
知立市新林町新林1-2 〒472-0017  
TEL 0566-81-0218

## 知立市の財政について考える

「知立市の財政がどうなっているのか、見てみたい」ということを聞きます。税収不足のため借金の返済が、予想以上の負担となっているなどの状況が現れています。そのため、私たちが何か新しい要望をしても、「お金がない」と拒否されるケースがあります。そのようなことから「我々の市はそんなに苦しいのか、財政を確かめてみたい」ということも聞きます。財政分析の熱も高まっているかも知れません。

「財政の豊かさ」とか「財政の危機」といった表現は、私たちの生活（家計）だけでなく、国や地方自治体の財政にも語られることがよくあります。「本当に豊かなのか、あるいは危機なのか」を平成28年度の決算書を見て私の気がついた点を述べてみます。

1つ目に、28年度中の借入額は14億1千160万円、返済額は13億8千430万円で借入額の方が2千730万円増加しています。家庭でいえばローンを取り組まないと生活ができないということになります。

2つ目に、個人市民税、固定資産税は微増ですが、これは民間開発が進んで住宅等が増えていることで評価できます。法人市民税が前年度より2億円も減り6億5千万円しかありませんでした。たばこ税も1千万円減りました。法人市民税が6億円余では健全な財政運営が難しいと思います。家庭でいえば会社があまり忙しくなく給与所得が増えていないということです。

3つ目に、経常経費（人件費、公債費など）が増えたことにより7億円の財政調整基金を崩しています。これを家庭に置き換えると給料だけで賄えなかったので定期預金を崩したということになります。ただ財政的にいえば財政の財源調整をしているので短期的なものであれば問題はありませんが長期に長引けば問題があります。



知立市議会議員 久田よしあき

4つ目に、ふるさと納税の平成27年度は4千700万円、平成28年度は1億1千万円ということで6千300万円増加しています。これには5割の経費がかかりますが財政担当がよく頑張っていると評価できます。

以上のように決算書からいろいろ読み取ることができますが、注意すべき重要な指標に経常収支比率というものがあります。これは財政の弾性を示すもので、経常経費と財源の関係で数値が低い方が良く、一般的には85%以下が良いとされています。知立市はこの数値が93%であります。家庭に置き換えると10,000円のお金を持っているとして700円のお金しか自由に使えないということでもあります。100%になれば自由になるお金が無くなってしまふということです。

平成10年代は85%ぐらいでしたがリーマンショック後はこの数値が高く推移されています。家庭でいえば自由になるお金を捻出するには家計の出費を抑えたり、新しいパート先を探したりして所得を増やすように考えます。

知立市も市民の皆さんの要望に応じていくには新たな財源を探していくこと、今、行われている事業を見直していく必要があります。今後も市民要望に応じていくために多くの財源を確保できるように全力投球で頑張りますので宜しくお願い致します。

## 久田よしあき後援会「初詣旅行」

### 上げ馬神事で有名な多度大社でご祈祷

- 旅行日／平成30年1月13日(土)
- 会費(お一人様)／8,500円
- お申し込み先／久田よしあき事務所 ☎81-0218

### ●行程

知立市 8:30 = 伊勢湾岸道 = 多度大社(ご祈祷及び参拝)  
10:00~11:30  
= 湯の山「彩向陽」(ご挨拶及び昼食及び入浴) = 東名阪・  
12:20~14:20  
伊勢湾岸道 = 17:00頃 知立市

